



保育科通信

第4号 平成29年5月22日

目指せ、プロフェッショナル

保育科では、県の「プロフェッショナル育成事業」として、保育の様々な分野のプロフェッショナルの方々にご指導いただく授業を行っています。今年、5月17日(水)に2・3年生が「つながりあそびうた研究所」の町田浩志先生に、5月18日(木)には1年生が「折り紙夢工房」の金杉登喜子先生に教えて頂きました。どちらの授業も、生徒は大変真剣に取り組みました。

<2・3年生>



- ・私は今日教えていただいたような遊びがとても好きです。様々なことを楽しく分かりやすく教えていただけてとても充実した2時間になりました。
- ・「子どもと目線を合わせるだけでなく、心を合わせることが大切」という言葉が心に響きました。「笑顔」でいることが人を楽しくさせ、自分も楽しくなれる大切なことだということを強く感じることができました。
- ・小さい時からなりたと思っていた保育士は、子どもにとってとても重要な存在だということが分かりました。子どもが何を考えているのかを見抜けるくらいを目指して頑張りたいです。
- ・遊びの中には何かを伝えたいことがあると聞いて感動しました。ただ楽しむだけだと感じていましたが、それを知った今、遊びを色々なところから見られるようになったと思います。自分なりの“あそび”が見つかるまでまだまだ遠いと思います。これからそのヒントをたくさん拾っていこうと思いました。
- ・今日教えて頂いたことを保育実習でできればいいなと思いました。将来、子どもたちに教える立場になった時には、町田先生のように分かりやすく教えることが出来るようになりたいです。
- ・子どもたちと行う遊びや活動を通して、信頼感や安心感を築いていきたい。そのためには、周りをよく見て子どもたちの考えていること、求めていることを想像しながら動きたい。何事も全力で頑張るという決意を再認識できた2時間でした。

<1年生>



- ・折り紙に「縦目」と「横目」があることを知ってびっくりしました。
- ・私は折り紙があまり得意ではありません。でも、今日で折り紙が好きになりました。貴重な体験ができて自分の為になりました。
- ・日本文化である折り紙で世界中の人と楽しく過ごすことができるというのは素晴らしいことだと思いました。折り紙についてもっと深く知りたいと思いました。

今日から中間考査です。頑張りましょう！